

事業計画書

<p>現在の地域課題に対する本事業での実施内容</p>	<p><背景・課題></p> <p>昨今佐久地域には移住者が増加している。私たち運営スタッフはほとんどが移住者である。都心から自然を求め、受けた教育を求めてきた移住者にとって佐久地域は住みやすい。求めてきたものを得られ、住み心地もいい。ただ一方で都心に比べて文化芸術の多様性、それに触れる機会は圧倒的に少ない。住みやすさを感じつつもまだ仮の住まいと考える移住者も多いのが現状だろう。常に感じるわけではないが、ちょっとした不便さや物足りなさが、いつかは都心に戻るといった考えを拭いきれない一因と考える。</p> <p>佐久地域でも立派な公共劇場を有し芸術の鑑賞機会はあるが、松本市や長野市、上田市のサントミュージーゼに比べ、演目は少ない。子どもにとって身近なものとしてキッズサーキットの公演があり、毎年チケットが即完売になるほど好評を博している。しかし子ども向けの小さい作品が多く、作品の傾向がかたまってきている印象を受ける。芸術鑑賞は、生活の中に非日常の楽しみや豊かさをもたらすばかりでなく、未知の世界、他人の創り出す自分にはない世界観に触れる機会となる。それを自分がどう感じるのかを自覚することで、自分を見つめる良い機会ともなる。</p> <p>昨年度第一回目の「舞台芸術の日」を開催し文楽をたくさんの方にご観覧いただけた。アンケート結果でも「またこのような公演をやってほしい」という声が98%に上った。文楽という今まで触れたことのなかった芸術に触れる機会を得、「人形の繊細な魅力にびっくりした」や「色々なトリックがあって迫力がすごかった」「期待の10倍楽しかった」という声を聞いた。文化芸術活動が幅広く豊かになる期待が持てた。</p>
	<p><取り組みの必要性></p> <p>佐久地域でも都心のような本物の芸術に触れる機会が身近にあることにより、地域住民の生活がより豊かになる。劇場での多様な舞台芸術公演の開催は「文化を創っていく場」としての劇場に必須の機能である。</p> <p>また、単に観賞するだけでなく、「舞台芸術とは何か」「此の地域でどんな公演を実現させたいか」を考え、実現に関わった子どもたちは、舞台芸術をより深く味わうことができるだろう。また、自ら考え、世代を超えて共に何かを創り上げるという経験は、地域社会の未来を担う力を育てることになる。ゆえに、「こども実行委員会」を組織し、未来の佐久地域の文化の担い手を育てると共に、地域で育ってきた子どもたちも移住してきたばかりの子どもたちも学校を超えて交流、協働が生まれる場となるよう設定している。子どもたちが違いを超えて共に未来を担う仲間として一つの企画を作り上げる体験を経て、より具体的に自分達の未来の町を作っていくイメージを持ってもらいたい。</p> <p>今回も、昨年同様公演とワークショップという、子どもへのインプットとアウトプットという両輪を大事に開催する。芸術は享受するのみならず、自分で創り出すという体験を経ることによってより深い体験として残る。</p> <p>また今回は、こども実行委員会の自主的な活動を増やしていくために、こども実行委員会向けのワークショップを公演に先立って夏に行う。事業を担う一員としてより自分ごととして宣伝活動ができるよう活動を進める。</p>

<p>対象となる人・ 範囲</p>	<p>佐久地域の子どもと保護者 こども実行委員会：15名 公演：定員400名 ワークショップ：定員20名</p>
<p>事業の効果、 達成目標 (達成目標はでき る限り数値で示す こと)</p> <p>記載ポイント</p> <p>事業の ・公益性</p>	<p>○本事業にかかる佐久平交流センターののべ来場者数640人（うち6割以上が子ども） ○公演後の来場者アンケート また来年もこのような公演をやってほしい…9割以上 身体表現に興味を持った…6割以上 こども実行委員会に参加してみたい…3割以上 ○こども実行委員会へのアンケート またこども実行委員会をやりたい…8割以上 公演企画への理解が深まった…6割以上</p>
<p>記載ポイント</p> <p>事業の ・独自性 ・発展性 ・実現可能性 ・団体の自立促進</p>	<p>【1公演・ワークショップ開催】 カンパニーデラシネラによる公演・ワークショップ実施 ○日時：2024年10月26日（土曜日）14:00～16:00 ワークショップ 10月27日（日曜日）17:00～18:00 公演『はだかの王様』 ○場所：佐久平交流センター ○定員：ワークショップ20人 公演400人</p> <p>○入場料 子ども入場無料 大人1500円 大人のみ入場不可 ○広報手段：ホームページ、SNSにより随時情報提供 佐久市教育委員会・佐久穂町教育委員会・御代田町教育委員会・小諸市教育委員会に後援をいただき（現在申請中）佐久市全小学校・佐久穂町・御代田町・小諸市小学校にチラシ配布、コモホールなど公共施設への配架・イベント時の配布依頼 ケーブルTV、FMさくだいらにおいて告知</p> <p>【2子ども実行委員会を組織する】 ○募集方法：佐久市全小学校・佐久穂町・御代田町・小諸市・軽井沢町の小学校に募集チラシ配布し、メンバーを募る 現在8人昨年から引き続き在籍しているので新たに7名募集する。 ○スケジュール 5月募集チラシ配布・募集開始 6月実行委員決定 第一回こども実行委員会（チームづくり） 7月第二回実行委員会（チームづくり・公演詳細理解） 8月第三回実行委員会（ワークショップ体験） ※8月19日 14:00～16:00 子ども実行委員会向けにデラシネラさんの世界観に触れるワークショップを開催。</p>

	<p>まず自分たちが体験して、公演当日のワークショップの内容をアーティスト共に考えていく。また、自分たちでワークショップの様子を撮影し、公演の宣伝動画を作成する。</p> <p>9月第四回実行委員会（宣伝告知活動準備） 10月第五回実行委員会（当日のシュミレーション確認）</p> <p>11月第六回実行委員会（公演振り返り・アンケート集計） 12月第七回実行委員会（公演記録作成） 1月第八回実行委員会（公演記録作成） 2月第九回実行委員会（実行委員会活動まとめ） 3月第十回実行委員会（よりよい公演をつくるためには）</p> <p>○昨年外部とのやりとりや時間の関係で大人運営スタッフが決めなければいけない部分が目立ったが、今回は公演当日のワークショップ・宣伝活動に的を絞って子どもたちに任せる部分を増やしていく。</p>
<p>重点テーマに該当する理由</p>	
<p>翌年度以降の取組</p>	<p>本事業は10年継続を目指し、次年度はさらなる事業収入増と企業の協賛金を募る予定である。ゆくゆくは特定企業の社会貢献事業としてタイアップする形で実施したい。</p> <p>こども実行委員会は毎年募集しメンバーを増やしたり、入れ替えを行うことで様々な子どもの交流の場となるようにする。より子どもたちの自主的活動となっていくよう子どもの事後アンケートの声を拾い上げていく。</p>